

令和3年度冬季展

# 古代中国・オリエントの美術 リターンズ

—国宝“細川ミラー”期間限定公開—

2021年12月18日(土)～2022年2月13日(日)

## 古代中国・オリエントの美術、再び集結

2020年2月より開催し、ご好評いただいた「古代中国・オリエントの美術—国宝“細川ミラー”期間限定公開—」展。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりやむなく途中閉幕となった同展が、今冬、およそ1年10か月ぶりに帰ってきます。

永青文庫の設立者・細川護立<sup>もしたつ</sup>(細川家16代・1883～1970)は、幼い頃から漢籍に親しみ、中国の文化に強い憧れを抱いていました。やがて大正15年(1926)から約1年半かけてヨーロッパを巡り、のちに国宝に指定される「金彩鳥獸雲文銅盤」<sup>きんさいちようじゅうらんもんどうばん</sup>などの中国青銅器や陶磁器を購入し、以降本格的に中国美術のコレクションを始めます。さらに護立の関心はオリエント美術にまで及び、イスラーム陶器やタイルの優品も蒐集しました。

本展では、“細川ミラー”の名で広く知られる「金銀錯狩獵文鏡」<sup>きんぎんさくしゅりようもんきよう</sup>(国宝)など前回の出品作品に加え、当館では8年ぶりの公開となる「金銀玻璃象嵌大壺」<sup>きんぎんはりぞうがんおおつぼ</sup>(重要文化財)をはじめとした古代中国の美術13点を新たに展覧。さらに、高度な技術でつくられた大変珍しい「ゴールドバンドガラス碗」などのオリエント美術を再びご紹介します。



国宝 金銀錯狩獵文鏡

中国 戦国時代(前4～前3世紀)

2021年12月18日(土)～2022年1月23日(日) 限定公開

【本展に関するお問い合わせ】 公益財団法人 永青文庫

〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1 TEL: 03-3941-0850 FAX: 03-3943-0454

※掲載作品はすべて永青文庫蔵

※表示がない作品は通期展示

# 細川護立と古代中国の美術

5歳頃から漢籍を学び、幼少期より中国文化に強く憧れていた細川護立。学習院中等学科在学中には義和団事件ぎわだんじけん (1900年)直後の北京へ初めて赴き、紫禁城や万寿山を訪れました。このような中国への関心はやがて自身の美術品蒐集とも結びつき、大正15年(1926)から約1年半におよぶヨーロッパ旅行を機に、中国美術を本格的に集めるようになります。

護立は滞欧中、各地の博物館・コレクターを訪ね歩き、唐三彩や金属器をパリの古美術商から買い求めました。当時の日本では、墓に納める副葬品ふくそうひんであった唐三彩などは避けられる向きもありましたが、護立はいち早く価値を見出し、専門家の助言を得ながらコレクションを充実させていきました。ここでは、本展に先立ち実施した作品調査をふまえて、護立の蒐集品から様々な古代中国の美術をご紹介します。

## 重要文化財

### 銀人立像

中国 戦国時代  
(前5～前3世紀)

衣服を腰帯で固定し、裸足で立つ小像。指先の爪や、鼻の鼻孔など、身体の細部を精巧に表現しています。古代東アジアでは、銀製の小像の類例が極めて少なく、本作は貴重な作例。



## 龍文人脚銅匱

中国 西周～春秋時代(前9～前7世紀)

匱は日常で用いられた器の一種。蓋中央に獣形つまみをつけ、胴部に龍文と四脚獣を表し、高台に坐像形の支脚がともないます。類品の出土例から、高貴な女性の小物入れとして用いられたと考えられています。



蓋を開けた状態

## 重要美術品

### 金銀象嵌鳥獸文管金具

中国 前漢時代  
(前2～前1世紀)

金銀の平象嵌と線象嵌で、器体全面にテナガザルや鹿など様々な鳥獸を精緻に表しています。底部に8本の突起があり、傘金具あるいは灯明台の支脚として用いられた可能性が指摘されています。



下段に表されたテナガザル



## 重要文化財

### 金銀玻璃象嵌大壺

中国 戦国時代(前5～前3世紀)

胴部の表面を斜格子状に区画し、格子によってできた空間に小さなガラスを嵌め込んでいます。本作のようにガラス象嵌を使用した大壺の遺例はわずかといわれています。



ガラスで表された七星文



## 重要美術品

### 金象嵌越王銅矛

中国 戦国時代(前5～前4世紀)

金象嵌による「鳥書」(鳥の頭や羽の形を取り入れた装飾字体)は、春秋時代・越の国の王名を示していると考えられています。さらに、下半部にはトルコ石で鳥の模様を表しています。



鳥書

# オリエントの美術

オリエント地方とはラテン語で「陽が登るところ」「東方」を指す「オリエンズ」に由来します。現在のトルコからパキスタンあたりまでの地域に該当し、古代ローマからみた東方世界の呼称として定着しています。5000年以上さかのぼる紀元前3200年頃に興った都市文明は、現在のイラク共和国を中心とするメソポタミアで栄え、現代生活の基本的要素(文字、商業、階級、法律、職業など)のほとんどを備えていました。

永青文庫のオリエント美術コレクションは、東地中海沿岸地域のガラス、エジプト新王国時代の遺物、イスラーム時代のペルシア陶器など、地域も時代も多岐にわたります。古代の人々は、神や王、自分たちのために、様々な作品を生み出しました。それらは、当時の人々の祈りが込められているだけでなく、社会の状況、周辺地域との関連など、多くの情報を有しています。



ちゅうぶ  
宙吹き瓶

東地中海沿岸域 3~4世紀

紀元前後頃に吹きガラスの技法が発明されると、ガラス容器の生産が増大し、それらは日常の様々な場面で用いられたほか、高価な香油や化粧品を入れる容器としても使われました。本作は、ガラス塊に空気を吹き込んで成形する「宙吹き」による小瓶で、柔らかな丸みを帯びています。



はくゆういろえいじんぶつもんはち  
白釉色絵人物文鉢

イラン 12~13世紀

ペルシア語でエナメル(彩飾)を意味するミナイ手の陶器。その特徴は愛らしい丸顔の人物表現。本作は、玉座に座る人物とその脇に侍者、上下に植物と孔雀が描かれおり、衣服の細かな模様も丁寧に表されています。



ヤギ文タイル

イラン 17世紀

イスラーム時代、モスクの内外や聖人の墓廟を装飾するために、釉薬を施した施釉タイルが用いられました。本作は、模様の描線を描いた後に釉薬を塗りこみ、顔料が混ざり合うのを防ぐ「クエルダ・セカ・タイル」と呼ばれる技法による、鮮やかな色彩のタイルです。



ゴールドバンドガラス碗

東地中海沿岸域 前2~前1世紀

現代では再現が難しい高度な技術によって、レース模様のガラスと、金箔を挟んだ縞模様のガラスを合わせて成形した希少な一点。2000年以上経った今も、その美しさを保っています。



木製シャブティ

エジプト 新王国時代第18王朝  
(前15~前14世紀頃)

ミイラ形をした副葬品の小像。両手にそれぞれ鋤と鍬を持ち、籠をぶら下げ、来世で死者に課せられた労働を代わりに遂行する呪術的な役割をもちます。下半身の銘文からは、所有者の男性の名がわかります。

## 国宝2点、重要文化財5点を特別公開

細川護立の中国美術コレクションには、蒐集当初より専門家に評価され、のちに国宝や重要文化財に指定された作品も含まれます。本展では、護立が独断即決で購入した「きんぎんさくしゅりょうもんきょう金銀錯狩獵文鏡」、滞欧中に手に入れた「きんさいちゆうじゅうらんもんどうばん金彩鳥獸雲文銅盤」の国宝2点を期間限定で公開！また、永青文庫では8年ぶりのお披露目となる「きんぎんはりぞうがんおおつぼ金銀玻璃象嵌大壺」をはじめとした重要文化財5点も展示します。



国宝 金彩鳥獸雲文銅盤  
中国 前漢～新時代(前3～後1世紀)

2022年1月25日(火)～2月13日(日) 限定公開

## 最新の調査をもとに、古代中国の美術13点を新たに紹介

本展に先立ち古代中国の作品調査を行い、時代や技法、用途など、より詳細な作品の特徴が明らかになりました。今回は最新の調査結果をふまえ、前回の出品作品に加え、古代中国の美術13点を新たに紹介します。



こくりゅうもんぎょたいこう穀粒文玉帯鉤  
戦国～後漢時代(前5～後3世紀)

## オリエント美術コレクションを再び

護立が蒐集したオリエント美術は、様々な地域や時代のものがみられます。前回の「古代中国・オリエントの美術」展にあわせて実施した専門家による調査の結果、それらのなかには現代では再現が難しい高度な技法でつくられたガラス碗や、古代エジプトの王家ゆかりのタイルなど、珍しい作品が含まれていることが判明しました。本展では、貴重なオリエント美術コレクションを再び展覧します。



ファイアンス製象嵌タイル  
エジプト 新王国時代第19～第20王朝(前13～前12世紀)

### 【開催概要】

展覧会名：令和3年度冬季展「古代中国・オリエントの美術 リターンズ ―国宝“細川ミラー”期間限定公開―」

会 期：2021年12月18日(土)～2022年2月13日(日) ※会期中、一部展示替えがあります

会 場：永青文庫(東京都文京区目白台1-1-1) 4階・3階展示室

開館時間：10:00～16:30 (入館は16:00まで)

休 館 日：月曜日<但し2022年1月10日(月)は開館し、1月11日(火)は休館>

年末年始<12月27日(月)～2022年1月7日(金)>

入 館 料：一般800円、シニア(70歳以上)600円、大学・高校生300円

※中学生以下、障害者手帳をご提示の方およびその介助者(1名)は無料。

主 催：永青文庫

令和3年度冬季展「古代中国・オリエントの美術 リターンズ」 広報画像申請書  
2021年12月18日(土)～2022年2月13日(日)

貴社名:

媒体名:

ご担当者名:

ご所属:

TEL:

FAX:

ご住所:

E-mail:

掲載予定日: 年 月 日

掲載概要:(コーナー名、画像の掲載サイズ など)

□読者プレゼント用チケット(5組10名様)ご希望の場合はチェックを付けてください。

※2022年1月13日までにご紹介頂ける場合に限らせて頂きます。※チケットはゲラの確認後に送付いたします。

◆ご希望の写真番号に○を付けてください。



1. 国宝  
「金銀錯狩獵文鏡」  
中国 戦国時代(前4～前3世紀)  
永青文庫蔵  
2021年12月18日(土)～  
2022年1月23日(日)限定公開



2. 国宝  
「金彩鳥獸雲文銅盤」  
中国 前漢～新時代(前3～後1世紀)  
永青文庫蔵  
2022年1月25日(火)～  
2月13日(日)限定公開



3. 重要文化財  
「金銀玻璃象嵌大壺」  
中国 戦国時代(前5～前3世紀)  
永青文庫蔵



4. 重要文化財  
「銀人立像」  
中国 戦国時代  
(前5～前3世紀)  
永青文庫蔵



5. 「木製シャブティ」  
エジプト 新王国時代第18王朝  
(前15～前14世紀頃)  
永青文庫蔵



6. 「ゴールドバンドガラス碗」  
東地中海沿岸域 前2～前1世紀  
永青文庫蔵



7. 「白釉色絵人物文鉢」  
イラン 12～13世紀  
永青文庫蔵



8. 「ヤギ文タイル」  
イラン 17世紀  
永青文庫蔵

## 【広報画像ご使用に際してのお願い】

※画像の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。貸与した画像は、使用後速やかに消去願います。

※展覧会名、会期、会場、作品名称、展示期間、所蔵者を必ずご掲載ください。

※掲載誌は1部ご惠贈願います。

## 【個人情報の取扱いについて】

※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみに使用いたします。

許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。